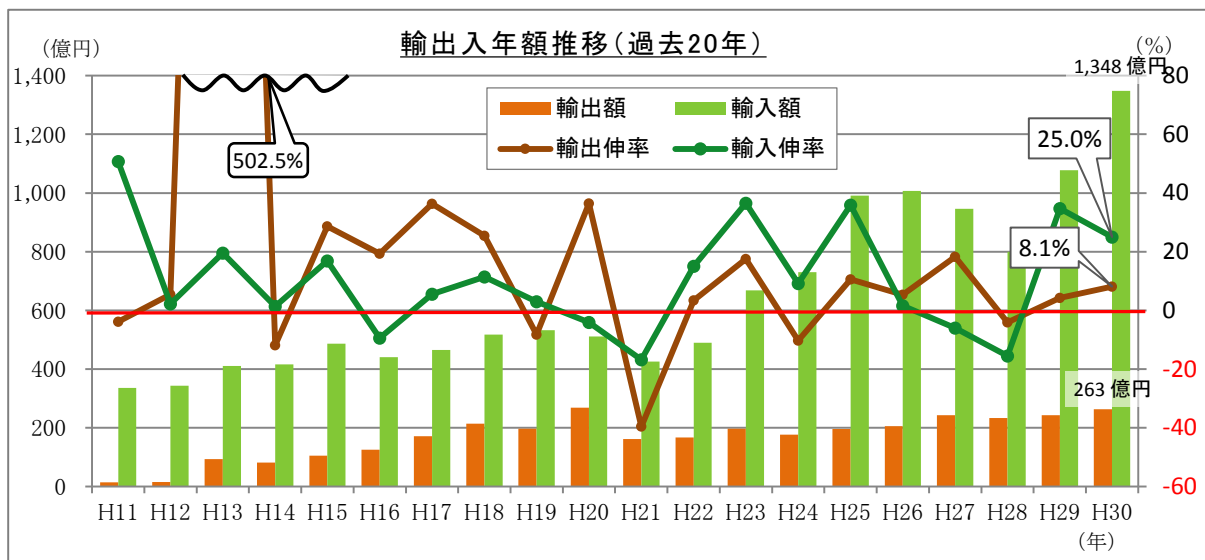


平成30年石狩湾新港外国貿易概況(年間)

輸出は、金属鉱などが増加し、年間で過去第2位を記録
(輸出額 第1位 H20年 268億55百万円)
輸入は、天然ガス、石油などが増加し、年間で過去最高を記録
(輸入額 第2位 H29年 1,077億86百万円)

【輸出入総額】

区分	平成30年	平成29年	前年比
輸出額	262億9,704万円	243億3,089万円	108.1%
輸入額	1,347億8,575万円	1,077億8,583万円	125.0%
総額	1,610億8,280万円	1,321億1,671万円	121.9%



【輸 出】

輸出額は、「パルプ及び古紙」「プラスチック」などが減少したものの、「金属鉱及びくず」などが増加し、前年比108.1%、2年連続のプラスとなり、年間輸出額としては、開港以来、平成20年に次ぐ過去第2位を記録した。

【増加品目】

金属鉱及びくず (92億7,836万円、前年比152.1%、韓国、ベトナム他)

【減少品目】

パルプ及び古紙 (10億6,934万円、前年比58.6%、中国、ベトナム他)

プラスチック (4億4,337万円、前年比60.5%、ベトナム、韓国他)

【輸 入】

輸入額は、「一般機械」「輸送用機器」などが減少したものの、「天然ガス及び製造ガス」、「石油及び同製品」などが増加し、前年比125.0%、2年連続のプラスとなり、年間輸入額としては、開港以来、過去最高を記録した。

【増加品目】

天然ガス及び製造ガス (441億8,830万円、前年比174.1%、ロシア、オーストラリア他)

石油及び同製品 (125億6,805万円、前年比187.1%、韓国、中国)

【減少品目】

一般機械 (6億1,779万円、前年比7.3%、中国、スイス他)

輸送用機器 (9億9,603万円、前年比47.9%、中国、タイ他)